



司書のつぶやき

ほ、ん、ま、かいな!

ちよっとお得な図書館の情報

たかね図書館

DVD・CD・ビデオなど、視聴覚資料の返却ポスト利用が可能。

明野図書館

小さな図書館だからこそ、アットホームな雰囲気。

ながさか図書館

フリーWi-fiが使えます！
持込みPCもネット接続可能！

ライブラリーはくしゅう

プレイルームがあります！
(未就学児の親子のみ利用可能)

むかわ図書館

雑誌・新聞コーナーは図書館の休館日でも閲覧できます！

すたま森の図書館

毎月1日(休館の場合は翌日)は閉架書庫をオープン！

小淵沢図書館

幼児室があります。授乳スペース、幼児用トイレも完備。

金田一春彦記念図書館

富士山と北岳が眺望できる図書館です！

お探しの本がなくてもあきらめないで!

お近くの図書館に本がない場合、無料で他の図書館から取り寄せることができます。市内の図書館だけでなく、県内の他の図書館で所蔵している本も借りられます。(相互貸借といいます)

雑誌のバックナンバーを差し上げます!

保存期間の経過した雑誌、本などをブックリサイクルとして、無償でお譲りしています。
※開催日は各図書館にお問合せ下さい。



読みたいと思ったらすぐ予約!

図書館の資料をインターネット上から予約することができます。
※利用は高校生以上、事前にカウンターでの申込みが必要です。

携帯電話、スマホからでもできます♪



資料の延長は電話でもOK!

1回に限り、貸出期間を1週間延長できます。
※予約のある資料、相互貸借資料、視聴覚資料、返却期限日から1週間過ぎているものはできません。



北杜市図書館総合情報誌

やまね便り

56号



特集 見に行こう! しかけ絵本!

職場体験～図書館～

中高生が図書館の仕事を体験! 感想を聞いてみました!



葦崎東中学校 秋山 涼乃さん
体験場所: すたま森の図書館



葦崎東中学校 倉岡 里沙さん
体験場所: すたま森の図書館

職場体験では普段学ぶことができないことを学ぶことができました。本を書架に戻す時に、記号や番号を見ながら作業するのは大変でした。おすすめの本は、『ログ・ホライズン』です。

カウンターでの作業や返された本を元の棚に戻す作業など、覚えなければならぬことが多かったけれど、仕事をする楽しさ・達成感を知ることができました。おすすめの本は『時をかける少女』です。



甲陵中学校 羽生 愛深さん
体験場所: ライブラリーはくしゅう



甲陵高校 鈴木 達哉さん
体験場所: ライブラリーはくしゅう

一番印象に残ったことは、本を見やすいように本の背表紙をそろえたことです。普段何気なく本を出したりしまったりしていたのですが、こんな気づきがあったんだと感じました。おすすめの本は、『風の中のマリア』です。

地元の図書館をいつも利用しているので、職場体験に図書館を選びました。一番印象に残ったことは、返却本の整理です。意外と複雑に仕分けられていて、どこに本を戻すのか迷い、苦労しました。



須玉中学校 藤本 理紗子さん
体験場所: むかわ図書館



甲陵中学校 西牟田 こころさん
体験場所: むかわ図書館

これまで図書館はそんなに大変な仕事ではないだろうと思っていたのですが、実際に体験してみたら、それは違うということがわかりました。この仕事の大変さを少し知ることができました。おすすめの本は『あんじゅう〜三島屋変調百物語事続』です。

仕事をする上で大切なことは笑顔だと教えてもらいました。一番に残っていることは、児童館での読み聞かせです。児童が楽しんでくれるか、集中して聞いてくれるか不安でしたが、本番では児童が楽しんでくれてとてもうれしかったです。おすすめの本は『謎解きはディナーのあとで』です。

とびだせ!

としよかんボランティア

第11回 ボランティア情報交換会

～北杜市図書館を拠点に活動中の図書館ボランティアを紹介～



10月9日(金)金田一春彦記念図書館において、北杜市図書館ボランティア情報交換会を行いました。

ボランティアの方々に日頃の活動の様子などを語っていただき、お互いの情報を共有しながら横のつながりを作ることを目的にはじめて行ったものです。朗読のグループの話し合いでは、お互いの勉強会を聴講することが提案されたり、読み聞かせのグループでは、市外でブックスタートボランティアをされていた方から市外での様子を話していただき、よりよいブックスタート事業が模索されるなど有意義な語らいの場となりました。またボランティア研修の内容についてもいくつかの提案をいただきました。

これからも情報交換の場を持ちながら、ボランティアの皆さんがいきいきと活動できるようにしていきます。

北杜市図書館ではボランティアを募集しています。興味のある方は、お近くの図書館までお問い合わせください。

あの人に会いたい

フリーアナウンサー
とくみつ かずお

徳光和夫さん

司書のつぶやきほ、ん、ま、かいな!
ちよっとお得な図書館の情報

職場体験～図書館～

とびだせ! 図書館ボランティア

～第11回 北杜市図書館ボランティア情報交換会～

編集後記

特集の「しかけ絵本」にちなんで、やまね便り冊子からも何か飛び出す仕掛けを...!と試行錯誤もありましたが実現ならず...。ぜひ、図書館にある素敵なしかけ絵本を楽しんでみてください。クオリティの高さに感激です。(は)

見に行こう！ しかけ絵本！

図書館のなかでのみ見ることが
できる楽しいしかけ絵本を
ご紹介します。

※ご紹介する本は壊れやすい資料のため
館外へ貸出ができません。
図書館内でお楽しみください。

繊細で壊れやすいので、
扱いには十分注意しましょう。



『スウィング!』
ルーファス・バトラー・セダー / 作
たに ゆき / 訳
大日本絵画
所蔵：ながさか・はくしゅう



あれ!?
動いた!

海の上となかが同時に見れる♪

『オセアノ号、海へ!』
アヌック・ボワロベールと
ルイ・リゴー / 作
松田素子 / 訳
アノニマ・スタジオ
所蔵：むかわ



3Dポップアップで
好奇心を刺激!

『海洋探検』
ジェン・グリーン / 文
すぎもとえみ / 訳
大日本絵画
所蔵：小淵沢



ため息がでるほど美しい...

『冬ものがたり』
ロバート・サブダ / 作
わく はじめ / 訳
大日本絵画
所蔵：金田一



躍動感あふれる映像にビックリ!

かわいい冬の絵本

『しろい ふゆ』
ロバート・サブダ / 作
ながせ ひな / 訳
大日本絵画
所蔵：すたま



のびる絵本



『ほしい』
藤田浩子 / 作
小林恭子 / 絵
一声社
所蔵：たかね・はくしゅう

どんまりのびる...

貸出できるしかけ絵本も
たくさんあるよ!

好きなおでんを
つくってみよう

『へんなおでん』
はらぺこめがね / 作
グラフィック社
所蔵：明野



ピカッ!
と光るよ

『レントゲン写真で
見るヒトのからだ』

ポール・ベック / 文
いがらし ともこ / 訳
大日本絵画
所蔵：はくしゅう



徳：徳光和夫さん

徳：パーティーの席で初めて
お会いした金田一春彦さん
は、タキシードに黒のスニ
ーカーといういでたちで、
さすがだなと思いました。
辞書をつくった偉い先生が
こんなざつぱらんな方な
のかと...

田：あの頃、父はたぶん痛風だったんです(笑)
徳：えっ! あっ、そうだったんですか?(笑)
田：それでね、普通の靴が履けないの。

タキシードに黒のスニーカー!?
金田一春彦先生の美学に迫る!

田：授業行くのにもナイキの靴を履くから、
それ、おかしいわよ、って言ったら「おかし
くナイキ」とか言い返されるんです。

徳：まさか痛風とは知りませんでした。財力
や名声にかまけることなく、着飾らない。
そういうお人柄がわかりました
ね。ちゃんとタキシードで
義理は果たしている、みた
いところがあるわけで。
痛風だとは、あえて言わ
ないところが金田一春彦さ
んの生きる美学なんでしょうね。



田：田中美奈子さん

この本との出会いは、立教
大学時代に、野口定男教授の
文学論の最初の講義で「これ
はぜひお読みなさい」と紹介
されたのがきっかけでした。
野口教授は、やはり立教大学
出身の作家、伊集院静さんが
傾倒し、影響を受けたといわ
れる方。大人になったのだけ
ら、こういう書を読んで、自
分の座標軸にしてみればよい
のではと、説明された。確か
もう一冊は『されど我らが

反骨の気持ちを持って
仕事柄、相手に媚びないよう
にしています。媚びると相手
の本音が聞けなくなるわけ
です。笑いながらちよっと
斬る、というようなところが
僕の中の美学ですね。他人
に媚びずにな

るべく本音を語りながら、
話を引き出していき、不快
感を与えないインタビュー
アールでありたいと思っ
ています。いつの間にか相
手が本音を語ってくれて
「今日はいいことしゃべ
れたな」と思える環境づく
りができればいいですね。
突き詰めると自然体である
ことかもしれません。自分
の中で貫き通していること
です。美空ひばりさんや高
倉健さんがそうでしたが、
彼らは偉い人に媚びません、
反骨精神を持っていらっ
しゃる。それが大切です。
反骨の気持ちがないと、相
手の本音は引き出せま

あのの人に
会いたい

フリーアナウンサー
徳光和夫さん



9月6日、須玉ふれあい館にて「第16
回金田一春彦ことばの学校」を開催。
金田一春彦さんの長女・田中美奈子さ
んと同窓のよしみであり、八ヶ岳に別
荘を持つ、フリーアナウンサー・徳光
和夫さんをゲストにお招きした。4校
時には、美奈子さんを進行役に、次男
の金田一秀穂さんと徳光さんのトーク
が会場内を大いに沸かせていた。

生き方の羅針盤

僕が若い人に薦める本は『李陵』(中
島敦・作)ですね。朝鮮の武将の話です。
朝鮮半島は常に大国に踏みつけられ
ている。李陵はそういうなかで媚びず
に生きる、というまさに男の生き方を
した武将。毅然として生きていくこと
がいかにか大切かを教えてもらった。意
固地なものに殺されるという時代に、
意地を張らずに相手の話を聞きながら、
なおかつ自分の主張を述べ、
存在感を示していく。どんな
時代にも男はこういう生き方
をしなくては、と感じさせる
僕の中の一書です。

リリょう

徳光さん お薦め本



毅然として
生きる
『山月記・李陵』
中島敦・作
岩波書店



自然体
に生きる
『されど
我らが日々』
柴田翔・作
文藝春秋



【とくみつかずお】フリーアナウンサー。1941年東京生まれ。1959年長崎県立長崎高等学校卒業。1963年日本テレビ入社。「ズームイン!!朝!」など多数の番組の司会を担当後、1989年フリーアナウンサーとなる。「24時間テレビ」は1978年の第1回から出演。巨人と競馬はライフワークである。

せんし、常に相手に対して、また体制
に対して、そういう気持ちがないと
迎合してしまいがちです。それは避け
ようとしていますが、そんな反骨精神
も僕の美学かもしれませんね。

日々(柴田翔・著)です。この本は、
自然体で生きることは難しく大変だけ
れども、やはり人間にとって一番正し
い生き方なのではないかと教えてくれ
ます。学生運動に打ち込みながらも、
男女の淡い思いもつくりたいという
若者の心の揺れを見事に描いています。
登場人物のその後の人生は、恵まれた
人生じゃないけれど充実した人生で
あったのではないかと感じる意味で
『されど』は名著です。

若いときに読んだせいもあるのか、
この二冊からは大いに刺激を受け、生
き方の指針のひとつとなりました。言
ったみれば、生きていく上での羅針盤
だったかなと感じています。